

CASE 2

ホテルグランメール 山海荘

地域 東北 所在地 青森県西津軽郡鮎ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸1番地
業態 温泉ホテル 客室数 80室 URL www.hotel-grandmer.com/



改善のテーマ

IoTによる日々の水光熱費の見える化

改善の背景

客の入込数に関係なく、担当者は決まった作業をしている。幾つかの作業が重なると、電力デマンドを超える。また、使用していない時間も、動力が動き、ボイラーが燃える。現実の施設は多数の人手で動かし、多数の人の目で見られているが、その量は判らない。その時々の使用量と在館客数との関係を、全員に見える化することで、これまで見えなかったムダが見つかる。

改善の内容

改善前



改善前にはカイゼンの方法は、設備担当から意見がだされ経営者から指示される。カイゼンを実行する社員には、理解されていない。

改善後



社員エレベータの横に大きなモニター画面が付き誰でも、その時間の在館客数と、その時間に使われた水、湯、電気、油、ガスの使用量と、その時の外気温、浴槽温度、源泉温度を一目でみることが出来る。瞬時に現状の全体把握ができて、問題発生への対応が早くスマートになる。それぞれの職場でカイゼンの工夫がされその結果はすぐ見える。



改善POINT

画面に表示するアイテムが多いと、誰もが、一目では判断できなくなる。効果の大きいものに絞り、決して多くしてはいけない。そしてカイゼンが徹底され、改善効果がなくなったら、その上の段階へ、地域の潜在エネルギーの利用や自然環境の改善などの方向に向かうべきである。

改善の効果

- 定量効果：12月単月の対前年比の電気油ガス合計のエネルギー量で20%の削減効果がみられる。また浴槽循環ろ過ポンプはインバータ制御、一部かけ流しとすることで対前年35%の電気使用量削減になる。
- 定性効果：2016年末に見える化システムが稼働し、社員が見て、様々な声が出始めている。
- 副次効果：エネルギーのムダを無くすエコ・小と、生産性の向上の相乗効果が体感できるようになる。

定量効果：12月単月の対前年比の電気油ガス合計のエネルギー量で20%の削減